

あずまや高原をいこいのひろばに育てる事業パートⅡ

取組に至る背景・事業の目的

- 平成 18 年、ありのままの自然が残されたあずまや高原に「らいてうの家」を開設して以来、あずまや高原をいこいのひろばにすることを目指し、平塚らいてうの願った「平和と協同と自然」を学ぶイベント・講座等に取り組んできている。
- 「らいてうの家」を拠点に、全国からの訪問者と地域住民との交流を図る。
- あずまや高原一帯の自然環境保全を図る。

事業内容

- らいてう講座、森の講座、子どもまつりの開催
「男女協同」を進める「らいてう講座」を 4 回、菅平の自然に関する「森の講座」を 2 回、子どもが自然の中で遊ぶ「子どもまつり」(写真上) を 1 回実施した。
- ウィッシュ・ツリーの設置 (写真中)
「らいてうの家」にウィッシュ・ツリーを設置し、来館者がメッセージ等をウィッシュ・ツリーに下げられるようにした。全国の訪問者から感動の声が寄せられた。
- 『青鞥』創刊百周年記念祝祭 in らいてうの家」の開催 (写真下)
地域住民との協働により開催し、「平和」について考える地元の小中学生を交えた朗読劇、野外コンサート等を実施、県内外から多数の参加者があった。



【 子どもまつり 】



【 ウィッシュ・ツリー 】



【『青鞥』創刊百周年記念祝祭】

事業効果

- 「らいてうの家」を開設し、ウィッシュ・ツリーの活動などを通して、訪問者と地元住民との交流が図られた。
- 各種イベントには、県内外からのべ約 700 人の参加があり、世代を超えたコミュニケーションや家族がふれあう機会となった。
- あずまや高原一帯の自然環境を保全する意識の向上が図られた。
- 平塚らいてうの活動を実践により学び、教育・文化の振興に寄与した。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 「子どもまつり」では、地元老人会の方に昔の遊びを指導してもらうなど、地域住民との協働により各種イベントを実施した。
- 地域住民との「協同」により、あずまや高原をいこいのひろばにすることを旨とし、「らいてう講座」、「森の講座」等を継続して実施する。

【選定のポイント】

「らいてうの家」を拠点に、あずまや高原全体を活用し、森林保全、平和の希求、「男女協同」等を考えるイベントを地域住民とともに実施した。県内外から「らいてうの家」に訪れ、イベントの参加者も世代層が幅広く、地域活性化及び教育・文化振興に寄与している。今後も「らいてうの家」を拠点とした継続的な取り組みが期待できる。

団体名 「らいてうの家」運営委員会 (上田市)
 連絡先 上田市芳田 1 3 8 0 - 1 2
 ホームページ
<http://homepage3.nifty.com/raichou/index.html>

事業タイプ ソフト事業
 事業費 1, 7 6 4, 3 7 3 円
 支援金額 1, 5 7 5, 0 0 0 円